

製品名: Chk2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85432**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC, IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC 1:50-1:200, IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 61 kDa; Observed MW: 61 kDa

抗原情報

遺伝子名	Chk2
別名	CHEK2; CDS1; CHK2; RAD53; Serine/threonine-protein kinase Chk2; CHK2 checkpoint homolog; Cds1 homolog; Hucds1; hCds1; Checkpoint kinase 2
遺伝子 ID	11200.0
SwissProt ID	O96017
免疫原	ヒト Chk2 の組み換えタンパク質

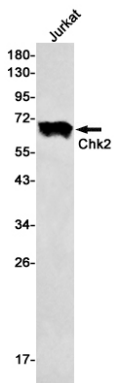
背景

これらは ATM/ATR キナーゼによるリン酸化に優先的に作用することが知られています。電離放射線（IR）、紫外線照射、またはヒドロキシウレア処理による DNA 損傷後、この領域の Thr68 をはじめとする部位が ATM/ATR によってリン酸化されます。したがって、SQ/TQ クラスタドメインは制御機能を有していると考えられます。

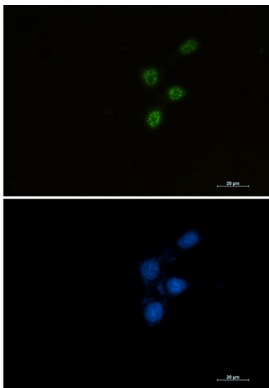
研究分野

アポトーシス

画像データ



Chk2 抗体を使用した Jurkat 溶解物中の Chk2 のウェスタン プロット分析。



Chk2 抗体と DAPI（青）を使用した HCT116 の Chk2（緑）の免疫細胞化学分析。